

スポーツの本 ～中学生へ～

八千代市立図書館

ベーグル・チームの作戦

E.L.カニグズバーグ/作 松永ふみ子/訳 岩波書店 [933 カ]

ブネイブスは連敗チームだった。マークは、そんな野球チームで今年もプレイするか迷っていた。ママがチームの監督、兄のスパンサーがコーチに決まるまでは・・・。

負け続けているうちに勝敗を気にしなくなっていたマークですが、ママとスパンサーが野球チームに入ってきたことで、少しずつ変わっていきます。



おたまじゃくしの降る町で 八束澄子/著 講談社 [913 ヤ]

ソフトボール部のハルと、ラグビー部のリュウセイは幼馴染。二人とも部活三昧な日々を送っていた。ところが、ある事件をきっかけに、ハルが部活を辞めてしまう。責任を感じたリュウセイは、ハルにラグビー部のマネージャーにならないかと誘う。

さわやかで、思わず胸があたたかくなるストーリーです。段々、リュウセイに惹かれていくハルにも注目です。



オン・ザ・ライン 朽木祥/著 小学館 [913 ク]

文学少年・侃^{かん}は、友達の貴之に誘われてテニス部に入部する。貴之に振り回されながらも、仲間たちと明るく楽しい高校生活を送っていた。取り返しのつかない事故が起こるまでは・・・。

熱い友情、そしてどんなに悲しいことがあっても、投げ出さずに頑張ることの大切さを教えてくれる一冊です。



快晴フライング 古内一絵/著 ポプラ社 [913.6 フル]

「ある事件」が起きてから休部のような状態になっていた水泳部に、降格の話が持ち上がった。降格し、愛好会になってしまうと都大会に出場できなくなってしまう。龍一は、都大会に出場したい一心で部の立て直しを始める。

集まったのは、戦力外の選手ばかり。水泳部は、一体どうなるのでしょうか。



フュージョン 浜野京子/著 講談社 [913 ハ]

家にいるのが嫌になった時、朋花は相棒のチャリに乗って家を飛び出す。行く先もないまま……。相棒と公園の広場を通った時、朋花は軽快でスピーディーに縄を飛ばす二人の姿にきぎ付けになった。これが、彼女とダブルダッチ、そして新しい仲間たちとの出会いだった。

軽快で楽しそうに縄を飛ばす彼女たちの姿が印象的です。



伴走者たち ～障害のあるランナーをささえる～

星野恭子/著 大日本図書 [369 ホ]

伴走者は、障害をもち、一人では走ることが難しいランナーと一緒に走る人たちです。彼らは、どのようなことに気を付けてランナーをサポートしているのでしょうか。

視覚障害、自閉症、義足のランナーなど、さまざまな障害をもったランナーを支える活動が紹介されています。



～他にも、スポーツの本～

- ・僕たちのプレイボール 鬼塚忠/著 幻冬舎 [913.6 オニ]
- ・左手一本のシュート ～夢あればこそ！脳出血、右半身麻痺からの復活～ 島沢優子/著 小学館 [916 シマ]
- ・武士道シックスティーン 誉田哲也/著 文藝春秋 [913.6 ホン]

